

## 令和2年度練馬区災害医療運営連絡会 会議要録

- 1 日時 令和3年3月24日（水）午後3時00分～4時15分
- 2 会場 Web会議（練馬区役所本庁舎7階防災センター）
- 3 出席
- |       |      |                 |
|-------|------|-----------------|
| 三宅 康史 | 委員   | （帝京大学医学部）       |
| 伊藤 大介 | 委員   | （練馬区医師会）        |
| 齋藤 文洋 | 委員   | （練馬区医師会）        |
| 斉藤 良造 | 委員   | （練馬区歯科医師会）      |
| 浅田 博之 | 委員   | （練馬区歯科医師会）      |
| 小田 真也 | 委員   | （練馬区薬剤師会）       |
| 植村 光雄 | 委員   | （東京都柔道整復師会練馬支部） |
| 江原 秀夫 | 委員   | （東京都柔道整復師会練馬支部） |
| 杉田 学  | 委員   | （順天堂練馬病院）       |
| 岩崎 登  | 委員   | （順天堂練馬病院）       |
| 光定 誠  | 委員   | （練馬光が丘病院）       |
| 木村 優介 | 委員   | （練馬光が丘病院）       |
| 及川 昭夫 | 委員   | （練馬警察署警備課）      |
| 金谷    | 委員代理 | （光が丘警察署警備課）     |
| 前田    | 委員代理 | （石神井警察署警備課）     |
| 前川    | 委員代理 | （練馬消防署警防課）      |
| 遠藤    | 委員代理 | （光が丘消防署警防課）     |
| 佐古田充宏 | 委員   | （地域医療担当部長）      |
| 生方 宏昌 | 委員   | （危機管理室長）        |
| 高木 明子 | 委員   | （保健所長）          |

### 【事務局】

高橋 雄貴 地域医療課長  
染野 好章 防災計画課長  
内田 勝幸 医療環境整備課長  
宮原 恵子 石神井保健相談所長

### 4 議題

- （1）令和2年度 練馬区災害医療運営連絡会専門部会の検討結果報告
- （2）令和3年度 練馬区災害医療運営連絡会の検討事項について

### 5 報告事項

(1) 令和2年度 訓練実施結果報告について

6 配付資料

資料1 令和2年度練馬区災害医療運営連絡会専門部会の検討結果報告

資料2-1 医療救護所におけるアクションカードの作成について

資料2-2 医療救護所におけるアクションカード

資料3 練馬区地域防災計画(本編)令和2年度(2020年度)修正(医療救護等対策抜粋)

資料4 災害医療等に関する動画の作成について

資料5-1 災害時における情報共有ツールの増設について

資料5-2 運用イメージ

資料6 令和3年度練馬区災害医療運営連絡会の検討事項について

資料7 令和2年度訓練実施結果報告

参 考 練馬区災害医療運営連絡会設置要綱

7 会議の概要

(1) 令和2年度 練馬区災害医療運営連絡会専門部会の検討結果報告

検討事項1：医療救護所におけるアクションカードの作成

検討事項2：医療救護所訓練の課題への対応について

⇒ 資料1および2について、別添により事務局から説明

【委員】医療救護所では、来所した傷病者に検温するということがあったが、災害時には、傷病者は低体温になっていることが多い。そうなるトリアージ前の検温だけでよいのか、それともはじめからCOVID-19患者と疑った方がよいのか、あらかじめ考えておいた方がよい。

【委員】このような状況、特に流行期においては、誰かがCOVID-19を持っていると常に想定しておいた方がよい。また、アクションカードについては、人数が揃わないときには、本来想定していた役割とは別の役割が当てられたときに対応できるように、一目で分かるものを作成するという目的だった。当院でもアクションカードは作成している。

【委員】アクションカードは素晴らしい取り組みだと思う。COVID-19の対応については、当院でも来院者に対して、体温を測るようにしているが、救護所でも同様にできるのかという問題もある。また、当院としては、トリアージをする際に、カテゴリーが黄色(中等症者)であっても、37.5℃以上の発熱者に対しては、タグにオレンジシールを貼付して、別室に誘導するように検討している。

【会長】発熱者への対応については、別エリアを用意する必要があるなど、それぞれの救護所で異なる対応になるかと思う。今後、訓練を通じて、現場ごとに検討していきたい。

検討事項 3：練馬区地域防災計画の修正について

検討事項 4：医療救護所における医療救護班等活動マニュアルの見直しについて

⇒ 資料 1 および 3 について、別添により事務局から説明

【会 長】 練馬区地域防災計画における医療救護対策等の軽微な修正なので、特に意見がなければ、進めさせていただく。

その他：①練馬区医療救護カレンダー2021 について

②令和 2 年度医療救護所訓練について

③災害医療等に関する動画の作成について

④災害時における情報共有ツールの増設について

⇒ 資料 1 および 4 ならびに 5 について、別添により事務局から説明

【事務局】資料では、LINE WORKS について説明しているが、他のツールも含め、幅広くご意見いただければと思う。

【委 員】災害時における情報共有は非常に重要であると認識している。解決しなければならぬ問題も多数あるかと思うが、ICT ツールを活用するという発想はよいかと思う。画像や動画の投稿や情報をメンバーで共有できるということはかなり利便性が高い。

【委 員】当院でも LINE WORKS を利用しているが、リアルタイムでやり取りができ情報共有ツールとして良いものであるが、課題もあるかと思う。一つは、事前に登録しなければならず、管理が煩雑になるということである。もう一つは、他のツールとの情報の重複や錯綜が起り、混乱が生じる可能性があるということである。アカウント数が増えれば費用も多額になり、災害時用で常時使用しないものとなると費用対効果もあまり良くない。そのあたりはどのように考えているのか。

【事務局】LINE WORKS でいうと、100 アカウントまでは無料で利用でき、それ以上になると有料プランにしなければならない。資料 5-2 に記載している運用イメージ上、すべての関係者を対象とすると 500 以上のアカウントを作成する必要があり、費用面で課題があることは認識している。また、有料プランと無料プランを混合で利用する場合においては、使用できる機能は、トーク機能だけだと聞いている。必要性に応じて、有料プランと無料プランの使い分けをする方向で事務局で運用案を提示できればと思っている。管理方法や他のツールの棲み分けについては、今後詰めていこうと考えている。

【委 員】当院および練馬区医師会の在宅療養分野では、無料のメディカルケアステーションを使用しており、ノウハウも蓄積されているので、

そのあたりも参考にされるとよいかと思う。当院の DMAT の隊員については、LINE WORKS に切り替えてみたが、既読者が特定できる点などは非常に分かりやすかった。

【会 長】現在 LINEWORKS 等の情報共有ツールを使用されている先生方もいるようなので、今後の検討の際には、ご意見を頂戴できればと思う。予算の関係もあるので、来年度の前半には、検討をまとめていこうと考えている。

#### (2) 令和3年度 練馬区災害医療運営連絡会の検討事項について

⇒ 資料6により事務局から説明

【会 長】特にご意見がなければ、ご説明した内容で来年度検討していく。医療救護所訓練については、来年度は3校を予定している。新型コロナウイルス感染症の状況次第ではあるが、可能な限り実施する方向で考えている。

#### (3) 令和2年度 医療救護所訓練結果報告について

⇒ 資料7により事務局から報告

#### (4) その他

【会 長】案件は以上であるが、その他委員からご意見等はあるか。

【委 員】区民に向けて、区からの放送がスピーカーから流れると思うのだが、災害時はどのような使われ方がするのか。

【事務局】防災無線のことかと思うが、区内に207か所設置されていて、災害時には、Jアラートや地震のお知らせ等をするものである。

【委 員】平常時の放送では内容が聞き取れないことがあるのだが、その点についてはどのように考えているのか。

【事務局】そのようなご意見もよくいただくが、地震発生のお知らせ等は最大音量で流すことにしている。それでも聞きづらいという意見はあるので、ねりま情報メールやホームページでも防災無線の内容を案内する。

【副会長】近年、住宅事情も変わり、マンション等では音が届かないことがあるので、防災無線だけに頼らないよう、他のツールも充実させている最中である。各人に合ったツールで情報を受け取っていただければと考えている。災害時には、普段聞いているよりも大きい音量で防災無線を使用するので、聞きやすくなるかと思う。

【会 長】ほかになければ、今年度の災害医療運営連絡会は閉会とする。